

安・衛通信

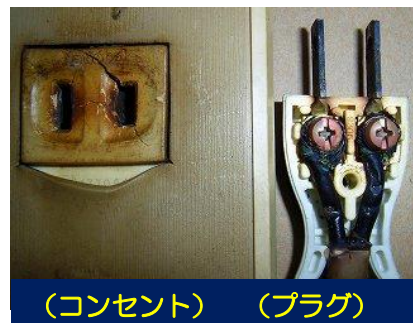
発行:小澤労働安全コンサルタント事務所
文責:所長 小澤 清



特集

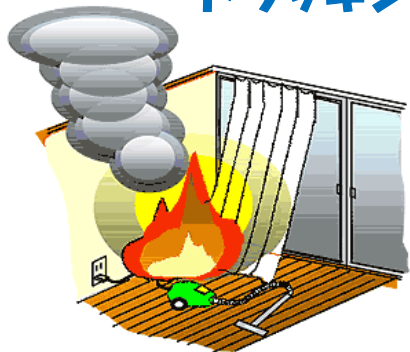
乾燥注意報発令 トラッキング現象に注意

最近トラッキング現象という言葉をよく耳にします。これは長い間コンセントに挿したプラグの根元にホコリ(埃、ほこり)がたまって、そのホコリが雨や結露や空気中の湿気で電気を通し易くなる場合があります。電流が流れると発熱します。それが段々加速してついにはホコリが炭化します。そうすると更に電気を通し易くなります。ついには電流が加速的に増加して発火に至ります。これをトラッキング現象といいます。さらに、プラグとコンセント間の接触不良がこれに加わると、電気製品を使った時の発熱がホコリの炭化を促進することがあり、さらにトラッキング現象が進みます。



(コンセント) (プラグ)

トラッキング現象が起こりやすい電源プラグと、その対策



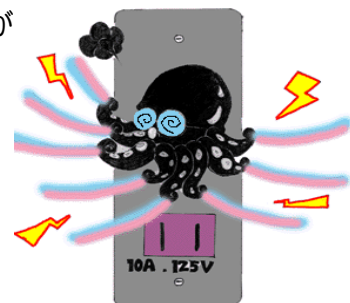
家具の裏など、ホコリのたまりやすい場所に長い間差し込んだままの電源プラグは要注意！まめにチェックしてホコリを拭き取りましょう。洗面所や台所など、湿気が高く湯気や水滴が直接かかる位置にある電源プラグ。時々電源プラグを抜いて、乾いた布で水気を拭き取りましょう。異常に熱くなった電源プラグやテーブルタップコードなどは危険です。すぐに使用をやめ、電気店に点検してもらったり、新しいものに取り替えましょう。なお、この現象では通常の安全ブレーカでは動作しません。そこで最近ではトラッキング現象による短絡で動作する機能を付加した安全ブレーカが開発され実用化されています。

注意：常にプラグを差し込んであるコンセントでは、定期的にプラグを抜いて、ほこりをためないように掃除しましょう。



過電流による出火

延長コードのコンセント部分(テーブルタップ)には必ず許容電流が明記されています。例えば、 $10A \times 100V$ (一般家庭の場合は、余裕をみて $100V$ で計算します) $=1000W$ まで使用可能となるわけです。この許容電流以上で使用すると、安全限度をこえ、テーブルタップからコンセントまでのビニールコードが使用電流に耐えきれなくなり火災を起こす原因となります。タコ足配線は、安全限度をこえる電気を使ってしまいがちです。電気器具が増えたら許容電流内か外かを確認しましょう。(想定外とは言えません)



安衛豆知識